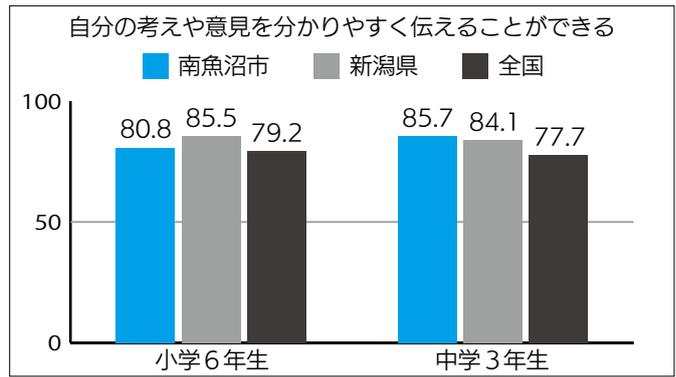
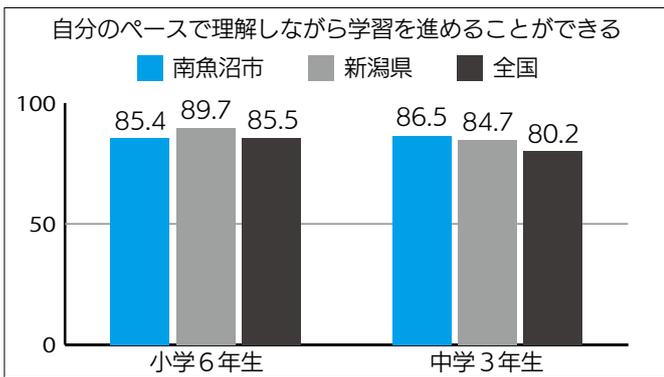


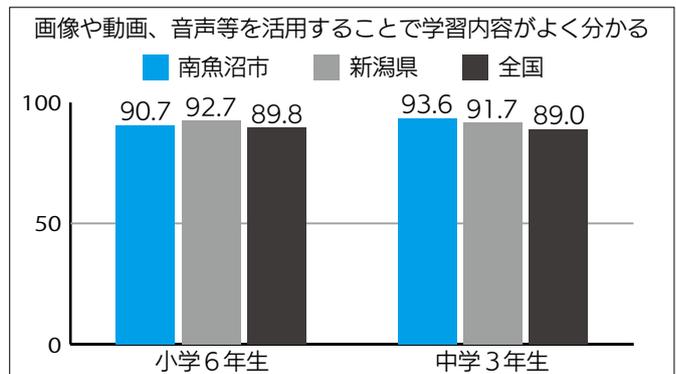
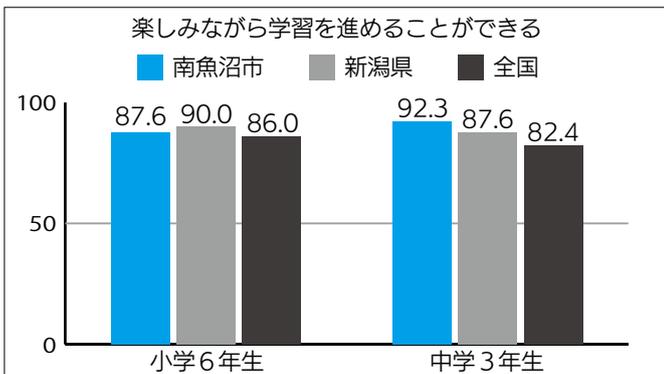
学習でPC・タブレットなどのICTを活用することについて肯定的評価の割合

○ 南魚沼市の中学生は、ICTを活用して上手に学習を進めています



小学6年生は、どの質問も全国と同程度の回答割合でした。中学3年生は、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」で約6ポイント、「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」で8ポイント、全国を上回りました。

○ 子どもたちの学習意欲と理解度の高まりに、更なるICTの活用が期待されます



中学3年生で、「楽しみながら学習を進めることができる」については、全国を約10ポイント、「画像や動画、音声などを活用することで学習内容がよく分かる」で約5ポイント全国を上回りました。特に中学3年生は、ICT機器を自らの学びを支援してくれる有効な道具であると考え、学習意欲と理解度が高まると肯定的にとらえています。

また、学習用端末導入当初から取り組んでいる「A1学習ドリル」は、小・中学校ともに、夏季休業などの課題や家庭学習を中心に活用が年々進んでいて、学力向上に寄与すると考えています。

○ 県が求める子どもたちのICT活用能力

新潟県では令和6年3月に「新潟県学校教育情報化推進行動計画」と児童生徒の活用レベルについて具体的に示した「児童生徒の情報活用能力体系表」を公表しました。新潟県ウェブサイト（「新潟県教育委員会」で検索）で公開しています。

児童生徒がより高いレベルでICTを活用できるよう、今後も環境の整備と先生たちへの研修の充実を図り、学校での一層のICT活用を進めます。

ICTを活用した学習の様子などは、市学習指導センターウェブサイトをご覧ください。



市学習指導センター（市民会館 2階）